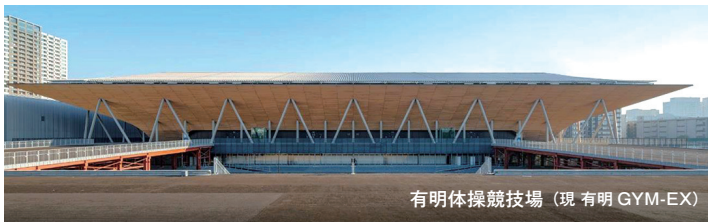


東京2020オリ・パラ、2025大阪万博施設の設計を通して

# 木の可能性をデザインする

東京2020オリ・パラ大会施設（有明体操競技場、選手村ビレッジプラザ）、大阪・関西万博2025日本館の施設設計を通して模索した、木の特性を活かした建築デザインについて講演。



有明体操競技場（現 有明 GYM-EX）



株式会社 日建設  
設計監理部門設計グループ ディレクター

## 高橋 秀通 氏

1984年東京大学工学部建築学科卒業、日建設入社。1994米国ペンシルベニア大学芸術学部建築学科修士課程修了。専門は建築意匠設計。体育施設、教育施設、文化施設から超高層ビルまで、多種多様な建物の設計に携わる。近年は、中国の超高層オフィスも数多く手掛ける。有明体操競技場、選手村ビレッジプラザ、深圳太平金融ビル、新宿グランドタワー、ポーラ銀座ビル、山陰合同銀行本店、愛媛県歴史文化博物館などを担当。

# 木づかいで徳島の森をモリアゲよう

森と木の可能性を全国の注目事例を交えながら徳島の木づかいへの期待を提案。



株式会社モリアゲ 代表

## 長野 麻子 氏

愛知県安城市生まれ。愛知県立岡崎高校卒、東京大学文学部フランス文学科卒、1994年に農林水産省に入省。2018年から3年間林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を各地で叫び続ける。豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ (<https://mori-age.jp>) を設立。

東京2020オリ・パラ競技会場や関連施設での木材利用を契機に、都市部でのウッド・チェンジが広がりを見せ、来年開催される大阪・関西万博でも、大屋根リングを中心に多くの木材が利用される見込みである。この2つの世界的なイベントでの木材利用事例や全国におけるウッド・チェンジの取組を知ることで、これからの徳島の木づかいのヒントにする。

13:30 報告

「徳島県森林・林業施策の推進について」  
徳島県林業振興課 課長 平島聡一郎氏

公益財団法人徳島経済研究所

近藤 有紀 氏

14:00 事例発表

「徳島の木造・木質化の取組」  
公益財団法人徳島経済研究所 研究員 近藤有紀氏

14:30 講演① 講師：(株)日建設 高橋秀通氏

16:00 講演② (株)モリアゲ 長野麻子氏



令和6年 7.8 月

13:30~16:50

徳島グランヴィリオホテル

1F グランヴィリオホール 徳島市万代町3丁目5-1

定員 先着100名

申込み 下記に必要事項を記入の上 FAX で送信または web(右QRコード)から

FAX 送信先 088-662-2224 【締切】令和6年7月1日(月)



WEB 申込みはコチラ

お名前

※参加される方全員のお名前をご記入ください

所属・企業名

電話番号

Mail